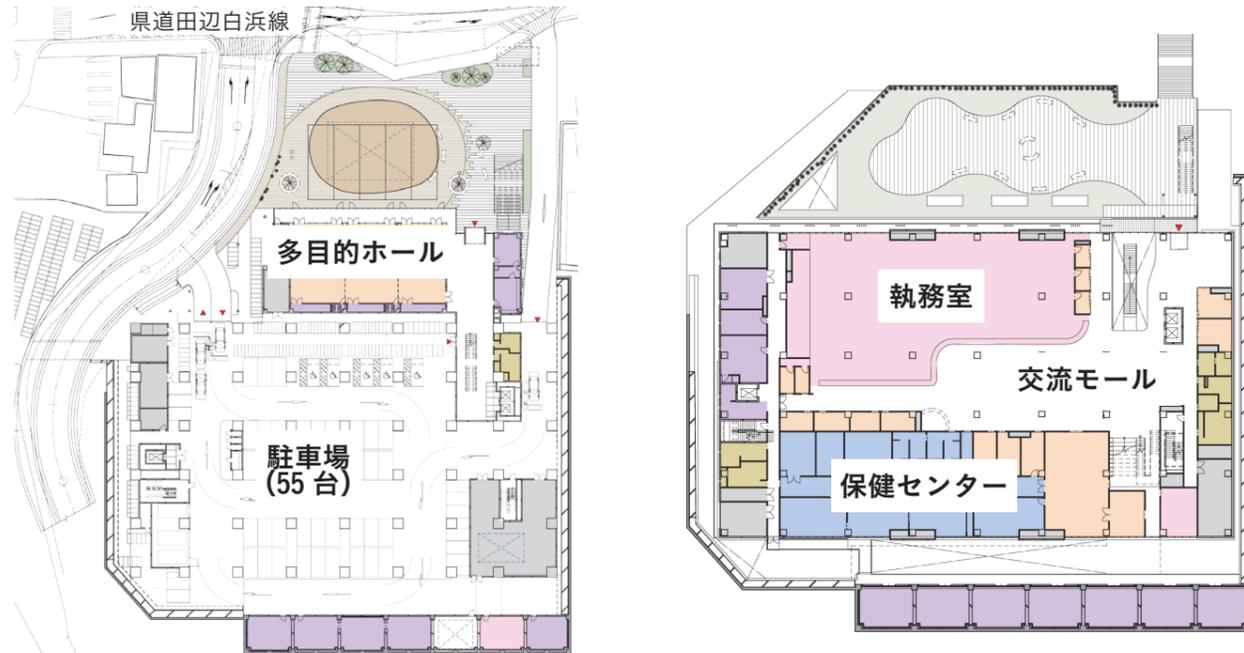


新庁舎の基本設計について

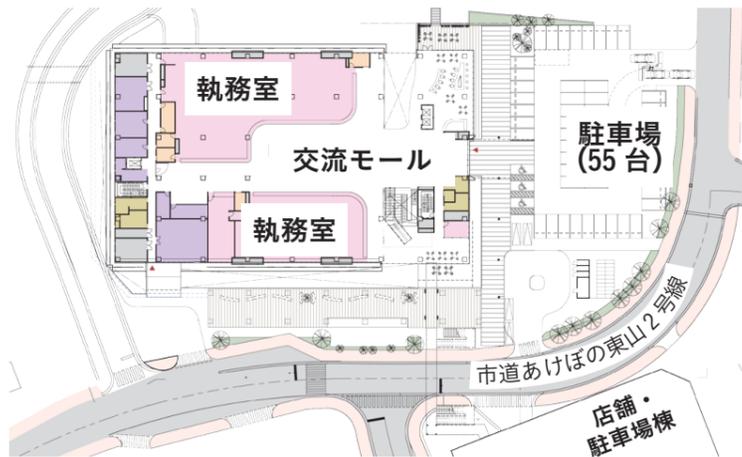
Vol.2

新庁舎フロア図

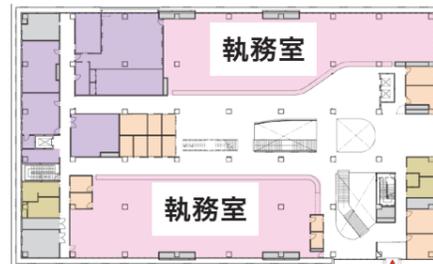


1階 駐車場・多目的ホール

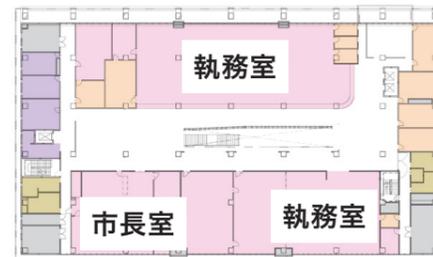
2階 保健センター・福祉部門



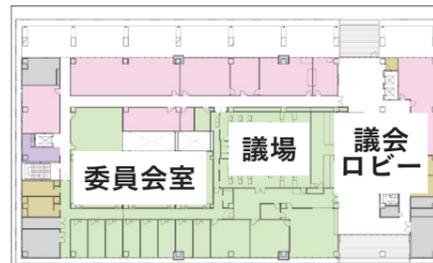
3階 市民窓口部門



4階 事業・産業系部門



5階 市長室、管理・教育部門



6階 議場・行政委員会等



内部イメージ

1月号に引き続いて、今月号では、基本設計における新庁舎の計画コンセプトとフロア構成についてご紹介します。

☎ 新庁舎整備室 ☎ 0739 (34) 3336 □ <http://www.city.tanabe.lg.jp/choshaseibi/sekkei.html>

5つの計画コンセプト

- 地域防災ネットワークをつなぐ防災拠点としての庁舎
新庁舎は災害発生時には、通常業務に加え災害対応拠点施設としての役割を果たす必要があり、以下のイメージのように各フロアの速やかな機能転換が可能な庁舎とする。ともに、業務を継続して行えるように、電力や水などのライフラインを確保できる計画とします。
- 津波災害発生時には、1階駐車場と多目的ホールを指定避難所への移動の安全が確保されるまでの一時避難場所とします。
- 敷地高低差を生かした交流モールを中心とした庁舎
敷地高低差を生かして、庁舎の東側ブロックに1階から4階まで通り抜けができる開放的なスペースとして、交流モールを設けます。
- 各フロアには、来庁者が自由に使えるコミュニケーションスペースを設けます。特に、3階にはカフェ・物販コーナーを設けます。

- コミュニケーションを大切にする誰もが使いやすい庁舎
執務室は左ページの図のように中央の廊下を挟むように南北に配置するとともに、各フロアに関連する窓口を集約して、行先にたどりつきやすい庁舎とします。
- また、ユニバーサルデザイン意見交換会で出された意見を踏まえ、左右勝手が違う多目的トイレを各フロアに交互に配置するなど、より多様な利用者に配慮した庁舎とします。
- セキュリティと管理区分が明確で活発な利用を促進する庁舎
窓口は、その機能に応じ、ハイカウンター・ローカウンター・ついたて・相談ブース・相談室を使い分け、プライバシーを保護するとともに、市民の皆さんが利用できる場所と執務エリアを明確に区分します。
- 歴史・文化を継承する田辺市ならではの庁舎
紀州材を活用した木のぬくもりが感じられる庁舎とします。特に、軒庇には木格子を5本一組として多数並べ、5市町村の合併を表現するとともに

各フロアの機能転換イメージ

市道あけぼの東山2号線	新庁舎		平常時
	店舗・駐車場棟	6階	議会フロア
歩道橋	5階	市長室・執務フロア	
	4階	執務フロア	
	3階	正面玄関・執務フロア	
	2階	保健センター・執務フロア	
1階	駐車場		
南	新庁舎		北
市道あけぼの東山2号線	新庁舎		災害時
	6階	議会フロア	多目的ホール
5階	意思決定・連絡調整フロア		
4階	復旧・復興フロア		
3階	生活支援・情報発信フロア		
2階	要配慮者支援フロア		
1階	一時避難フロア		
南	新庁舎		北

に、熊野古道の林立する木々を連想させる外観とします。

今後のスケジュール

令和2年度末の店舗・駐車場棟の完成後、約1年かけて現オフィスの解体を行い、その後、約2年間で新庁舎を建設する計画です。

